

北九州モデル導入の**実際**を聞きました

先人たちの声

社会福祉法人宏隆会 特別養護老人ホーム

舞ヶ丘明静苑

入所70名/短期入所8名
北九州市小倉南区横代380-2

平成7年2月に開設。豊かな自然と田園風景に囲まれた環境で、利用者が安心して暮らせる幸せな日々に向けた介護を提供している。



介護リーダー
秋山さん

北九州モデル導入の主な取組内容

- **記録**
【取組】 記録内容の整理と記録ソフトの導入
【効果】 一日あたりの記録時間40～50%減
- **周辺業務（ケア用品の準備）**
【取組】 備品の保管場所の見直し等
【効果】 環境整備の取組具体化（運搬用ワゴンの追加購入等）
- **職員コミュニケーション（情報共有）**
【取組】 通信（Wi-Fi）環境の確認と整備
【効果】 インカムの活用が具体化 など



北九州モデル導入の流れ
(センターによる伴走支援)

| | R5 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | R6 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 準備 キックオフミーティングと今後の流れの共有 | | ■ | | | | | | | | | | | |
| 調査 センターによる業務量調査と結果報告会 | | ■ | ■ | ■ | | | | | | | | | |
| 検討 課題抽出と解決策立案に向けた意見交換 | | | | ■ | | | | | | | | | |
| 実践 取組の実施/センターとの意見交換/振り返り | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

1 北九州モデルに取り組もうと思ったきっかけは？

ケアの質向上に向けて、業務の効率化や利用者の状態把握の円滑化の必要性を感じていました。また、既にインカムは導入済みでしたが、その活用が進んでおらず悩んでいました。そんな折、北九州モデルについて話があり、**伴走支援による客観的な視点を取り入れ、これらの課題解決を図るべく、取組に参加することになりました。**

2 職員との合意形成はどのように行いましたか？

まずは、管理職会議の場で**北九州モデルについて取り組む目的やどのように現場へと伝えていくかを検討**しました。その整理ができた後に、管理職を中心に現場職員へ説明を繰り返し、**今後の予定や取り組む目的を共有**していきました。また、取組を進めている最中にも、**随時目的を示し続ける**ことで合意形成を図ることができました。

3 取組にあたり壁になったことは？

今までの手順ややり方を変えることに対して不安や戸惑いの声が上がりましたが、**職員全員で取組の目的や目標を共有**することで、乗り越えることができました。記録ソフト導入直後は、入力ミスやその修正に時間を要することもありましたが、**適宜勉強会やチェック係によるフォロー**を行うことで、課題をクリアしていきました。

4 今回の取組で役に立ったことは？

自分たちだけでは中々進めることができなかった新たなシステム構築をスムーズに進めることができました。また、業務量調査や課題分析を通じて、課題の抽出方法や業務改善に向けたアプローチの手法も学ぶことができ、**自分たちで業務改善を進めるヒントを得る**こともできました。そして何より、**職員の意識が変わり、継続的な業務の見直しを図ることが**できました。

5 新たな取組など、今後の方針は？

職員間の情報共有の円滑化に向けて**インカムの効果的な活用**を目標に、検討を重ねていく予定です。また、記録ソフトの機能活用を拡大させることで、**データに基づいたケアの実現**を図り、**更なるケアの質の向上**を目指しています。そして今後も自施設の課題や具体的な取組内容について整理・検討を続けていきます。

6 これから取り組む施設へのアドバイスを！

ゆとりをもって業務が行えることで、**考え方や気持ちにもゆとりができ**、その分、**利用者へのケアへと還元**できます。そして、そのこと自体が**職員にとってのやりがいや達成感にもつながり**、好循環を生み出します。効果が見えるまでは壁もあるかと思いますが、是非ともチャレンジしていただきたいと思います。